

教科名	音楽	週時間数	1	学年	2年
使用教科書 及び 副教材等	教科書 中学生の音楽 2・3年上 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) 副教材 コーラスフェスティバル (正進社)				
指導の重点	「主体性」「学習への意欲と態度」「表現を工夫する能力」「聴く能力」				
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で扱う内容について、興味・関心をもって一生懸命取り組める。</li> <li>・豊かな声量と美しい響きが出せるようにがんばって歌唱表現をすることができる。</li> <li>・楽曲にある音楽記号に合わせて曲想表現ができる。</li> <li>・多様な音楽に関心をもち、楽曲の構成を考えながら鑑賞することができる。</li> <li>・自分と友達、そしてパートやクラス全体の関わり方を考えて合唱をする。</li> </ul>				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習は一斉授業を中心に行う。(お互いに離れて練習する)</li> <li>・合唱練習では、パート別に小グループに分かれて行う。</li> <li>・必要に応じて、個人練習やペア練習を行う。</li> </ul>				
定期考査	出題方針	授業の内容を中心に出題する。			
	範囲 (予定)	1学期期末 2学期期末 学年末	1学期の学習内容 2学期の学習内容 3学期の学習内容		
評価方法	主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子 プリントの内容や提出状況</li> <li>・筆記テストの内容が表現の技能に生かされているか</li> <li>・定期テスト</li> </ul>			
	思考・判断・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子 定期テスト 実技テスト</li> <li>・合唱 パート練習等における話し合いや表現の工夫</li> <li>・鑑賞 作曲者のメッセージを音楽表現の中から感じ取りその良さを味わって聴く</li> </ul>			
	知識・理解	活動の様子 実技テスト(楽譜の読み取り、発声や表現力)			
学習方法	授業ごとに課題意識をもち、個人練習やグループ練習、全体練習に自主的かつ積極的に取り組む。				

学期	月	学習内容	学習のポイント
1 学期	4	・パート分け 音楽の基礎知識 課題曲練習	・合唱コンクールに向けて、自分の声の特徴を知り、パートバランスをよく考えて決める。
	5		・効率よく音程をとるために集中して聴く
	6	自由曲決め→音程練習 課題曲の表現方法を楽譜を見て理解する	・音程や発声等、自分の課題を見つけ、練習をする。
	7	フーガ ト短調 バッハ	・歌詞の意味をよく考える。 ・自分の声質を知り、練習する。 ・音楽記号と曲との関わりを考える。 ・合唱におけるクラスの特徴を考えながら、自由曲の候補曲を聴き、クラスの自由曲をきめる。(鑑賞) ・旋律の重なりを理解し、パイプオルガンの音に親しむ
2 学期	9	合唱コンクールの曲中心 (～10月末まで)	・お互いを尊重し、主体的に練習に取り組む。
	10	・他クラスの合唱曲を鑑賞する	・作曲者のメッセージを楽譜上のテクスチャを元に表現方法を考える。(言葉と旋律との関わり)
	11	交響曲第5番「運命」	・仲間と共に表情豊かに合唱する
	12	卒業式に向けて 式歌(音程中心) Joyful Joyful	・作曲者の時代背景を知り、音楽の構造を理解しその魅力を味わって聴く。 ・生活の中での音楽の役割を考えよう
3 学期	1	オペラ「アイーダ」 卒業式に向けて 式歌(～3月)	・音楽の特徴と時代背景との関わりについて理解する
	2	歌舞伎 勸進帳	・オペラに親しみ、その魅力を味わう ・日本の伝統文化に親しみその魅力を味わう
	3	卒業式に向けて 式歌発表 指揮をしてみよう	・歌詞をよく読んで曲想を理解し、表現につなげる。 ・リズムや拍を考えて指揮をする